

### 3 指導業務

県内外の木材加工業、住宅関連企業、建築設計事務所等を対象に、各研究部が行った技術相談、指導及び依頼試験の実績は次のとおりである。

#### 3-1 技術相談及び指導件数

(1) 件数

年 度	H13~19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	累 計
材料開発部	476	27	37	52	91	75	78	51	887
木材加工部	1,150	120	88	105	126	53	122	180	1,944
構法開発部	2,064	276	387	390	125	186	138	92	3,658
企画管理課	194	34	40	42	394	425	327	240	1,696
木構造相談室							332	232	564
計	3,884	457	552	589	736	739	997	795	8,749

(2) 依頼者内訳数

	企業・団体	行政機関	その他個人等	計
材料開発部	37	7	7	51
木材加工部	157	16	7	180
構法開発部	46	44	2	92
企画管理課	137	97	6	240
木構造相談室	67	157	8	232
H26年計	444	321	30	795
H25年計	643	302	52	997
H24年計	518	176	45	739
H23年計	554	153	29	736
H22年計	448	115	26	589
H21年計	442	88	22	552
13~26年計	6,206	2,198	345	8,749

(森林組合等団体は企業に、大学等教育機関は行政機関に含む)

※8,749件中、企業（団体を含む）からの相談は約71%

(3) 主な試験及び相談・指導内容

平成26年度	内 容	
	材料開発部	・スギの香り成分について ・集成材の接着について ・スギ生材含水率の季節変動について ・心持ち材の表面割れについて 等
	木材加工部	・幅広スギ板材の集成材ラミナへの加工について ・スギの干割れと強度の関係について ・I型ビームのクリープ試験方法について ・大径材の土木資材としての利用開発について 等
	構法開発部	・接合部試験体の加工方法について ・大規模木造の動向について ・大径材の利用について ・CLT等の現状について 等
	木構造相談室	・CLTの利用等について ・北郷小中学校建設について ・小林市新庁舎について ・日向中学校設計協議について 等

### 3-2 依頼試験

(1) 依頼試験実績

(単位：件・円)

年 度	H13～19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計
県 内	507	61	42	78	71	56	112	124	1,051
県 外	200	54	10	74		32	18	50	438
計	707	115	52	152	71	88	130	174	1,489
金 額	7,473,300	618,225	636,930	1,732,295	772,245	918,730	2,088,055	2,536,975	16,776,755

※依頼試験 1,489 件中 県内 70% 県外 30%

(2) 試験内容内訳件数

(単位：件)

試験内容／年度	13～19	20	21	22	23	24	25	26	計
短柱圧縮試験	17		2	8	5	1	7	4	44
床せん断試験	27								27
壁せん断試験	65	3		13		15	30	15	141
実大振動試験	31		7	14			2	10	64
曲げ試験	104	7	8	18	20	6	32	70	265
引張試験	19		1	8	2	1	10	2	43
長柱圧縮試験	6								6
熱伝導率測定試験	23								23
小試験体強度試験	154	23	21	40	21	15	20	14	308
耐候性試験	42	1	2	8	2	12	2		69
接着試験	36	5	1				2		44
含水率試験	65	14	1	19	5	5		3	112
乾燥試験(蒸気式)	1		4	1					6
収縮膨張試験	5	49	5	2	4	22			87
家具耐久性試験	12	7							19
材質試験(低倍率)	3								3
材質試験(グレーディング)	1								1
材質試験(組織観察)	10								10
吸音率測定試験	15	4							19
化学試験(可視紫外線試験)	9								9
動的ヤング係数測定試験	37			16	3	1	4	39	100
摩 耗 試 験	2								2
そ の 他 の 試 験	2			3	6	10	21	17	59
成 績 書 の 複 本	21	2		2	3				28
合 計	707	115	52	152	71	88	130	174	1,489

(注) 曲げ試験には、小試験体強度試験を含む。

### 3-3 研究会等への参加

#### (1) 森林・木材関係研究機関による合同研究成果報告会

主催者	宮崎県、九州森林管理局、宮崎大学		
開催日	平成26年12月10日(水)		
場所	宮崎県企業局県電ホール(宮崎市旭1丁目2番2号)		
参加者	約100人		
発表内容	ア 林地残材の丸太乾燥方法	材料開発部	岩崎 新二
	イ 大径材から得られた心去り構造材の乾燥性	木材加工部	児玉 了一

#### (2) 「都市の森林」フォーラム

主催者	宮崎県、川崎市		
開催日	平成27年2月7日(土)		
場所	川崎市(かながわサイエンスパーク内「ホテルKSP」)		
参加者	約100人		
発表内容	宮崎スギの大型建築物への利用可能性ーグリーン・イノベーションー 所長 飯村 豊		

#### (3) スギ大径材活用促進セミナー

主催者	宮崎県木材協同組合連合会		
開催日	平成27年2月16日(月)		
場所	東京都(公益財団法人 都道府県会館)		
参加者	約50人		
発表内容	ア 心去り構造材(柱・平角)の必要性と可能性について ーオープンイノベーションー		所長 飯村 豊
	イ 心去り構造材の乾燥スケジュールについて	副所長(技術)	小田久人
	ウ 心去り構造材の強度性能について	木材加工部長	荒武志朗
	エ これからの取組み方針について	企画管理課長	竹下忠利

### 3-4 講師派遣

派遣職員	期 日	会議等の名称	内 容	依 頼 者
飯村 豊	2014.6.20	林野庁内勉強会	スギ大径材の供給と利用	林野庁林政部木材産業課
飯村 豊	2015.2.7	「都市の森林」フォーラム	宮崎スギの大型建築物への利用可能性ーグリーン・イノベーションー	宮崎県・川崎市
飯村 豊	2015.2.16	スギ大径材活用促進セミナー	心去り構造材(柱・平角)の必要性と可能性についてーオープンイノベーションー	宮崎県木連
小田久人	2014.7.19	宮崎家づくりセミナー	木材の性質と使い方	宮崎県木連
小田久人	2014.9.30	木材乾燥講習会	木材の品質管理	日本木材加工技術協会九州支部
小田久人	2015.2.16	スギ大径材活用促進セミナー	心去り構造材の乾燥性について	宮崎県木連
荒武志朗	2014.6.27-28	ナイス耐震博覧会	オビスギの特性(大径材の強度性能など)	ナイス株式会社
荒武志朗	2014.7.19	宮崎県技術研鑽セミナー	スギの構造材としての性能と利用の方向について	みやざき技術士の会
荒武志朗	2014.10.17	工事検査課技術研修会講演	公共建築物等における県産材利用の促進について	工事検査課
荒武志朗	2014.10.24	ナイス視察者講演	オビスギの特性(大径材の強度性能など)	ナイス株式会社
荒武志朗	2014.10.27	第2回CLT意見交換会講演	オーストリアのCLT	センター
荒武志朗	2014.11.5	ナイス視察者講演	オビスギの特性(大径材の強度性能など)	ナイス株式会社
荒武志朗	2014.11.11	ゼロコーポレーション新人研修	みやざきスギの特性	ゼロコーポレーション
荒武志朗	2015.2.16	林野支援事業合同報告会	スギ心去り構造材の強度性能について	宮崎県木連
須原弘登	2014.6.27-28	ナイス耐震博覧会	オビスギの特性(赤みのもつ魅力について)	ナイス株式会社
須原弘登	2014.10.24	ナイス視察者講演	オビスギの特性(赤みのもつ魅力について)	ナイス株式会社

### 3-4 講師派遣(つづき)

派遣職員	期 日	会議等の名称	内 容	依 頼 者
須原弘登	2014.11.5	ナイス視察者講演	オビスギの特性(赤みのもつ魅力について)	ナイス株式会社
須原弘登	2015.2.27	第43回シイタケ談話会	照葉樹林の木材腐朽菌と綾ユネスコパークのきのこ調査	シイタケ談話会
田中 洋	2014.5.29	林業普及指導員資格取得に向けた研修	木材の性質、木材加工、林産化学、木材利用	森林経営課
田中 洋	2014.8.20	林業普及指導員課題研修(林産、林業機械)	C L T等の木材製品に関する現状	森林経営課
田中 洋	2014.12.15	中部地区木材需要拡大協議会	大規模建築物への木材利用	中部農林振興局
田中 洋	2015.1.15	JAS 資格者養成研修会	建築材料としての木材の性質	宮崎県木連

### 3-5 取材

氏名	題名	取材名	掲載頁	発行年月
小田 久人	木材の豆知識-木材はどうして燃えるの？-	エフエム宮崎 ラジオ番組「COOL WOOD JAPAN Project from MIYAZAKI」	-	2014年5月9日
	認定取得し積極営業 もくみ(日之影町)の2×4用構造材 大手メーカーなど採用	宮崎日日新聞	p.9	2014年5月29日
飯村 豊	27日に第28回研究会 持続性木質工技研	日刊木材新聞	p.2	2014年6月5日
飯村 豊	木質材料利用促進をテーマに6講演 持続性木質工技研	日刊木材新聞	p.2	2014年7月3日
	募ってます 木育教室参加者	宮崎日日新聞	p.22	2014年8月3日
	小学生 木材学び工作 都城で教室	毎日新聞	p.24	2014年8月12日
	うちわや箸作り楽しい 県産材で児童ら木育教室 都城	宮崎日日新聞	p.24	2014年8月12日
	今日の断面 杉芯去りKD平角の研究進む 人工林の大径木化に対応	日刊木材新聞	p.6	2014年8月13日
	宮崎スギ公共施設に 川崎市が積極利用へ連携	神奈川新聞	p.1	2014年10月16日
	新モデルへの始動 木材利用で川崎・宮崎 上ノウハウ 低コスト工期短く	神奈川新聞	p.23	2014年10月16日
	新モデルへの始動 木材利用で川崎・宮崎 下大都市 普及目指し手探り	神奈川新聞	p.19	2014年10月17日
	公共施設木造化の川崎市 本県産材利用へ連携 県、建設ノウハウ提供 来月協定	宮崎日日新聞	p.1	2014年10月26日
	県産木材利用 川崎市と県協定 7日県庁で締結式	宮崎日日新聞	p.1	2014年10月28日
	木材利用で県と川崎市が協定	MRT宮崎放送 テレビ番組「MRTニュースNEXT」	-	2014年11月7日
	国産材の活用 宮崎県と連携 市、学校などで	朝日新聞(神奈川県)	p.29	2014年11月8日
	宮崎産材、技術活用へ 県と川崎市「木材協定」 市長が締結式で宣言	宮崎日日新聞	p.25	2014年11月8日
	木造ビル実現へ耐性試験 強度持つ木材パネル実用化へ 県木材技術センターなど	読売新聞	p.35	2014年11月27日
飯村 豊	日曜論説 喜怒哀楽そして愛 木材需要「千石船」の夢よ再び	宮崎日日新聞	p.3	2015年1月4日
飯村 豊	小林市新庁舎木造3階 議場棟県内公共建築物で初 林業活性化シンボルに	宮崎日日新聞	p.1	2015年1月12日
	小林産木材使い新庁舎 市有林のスギとヒノキ 3階建ての市議会棟 総事業費29億円	読売新聞	p.33	2015年1月15日
	豊富な木材PR 県、連携協定後初の催し 川崎市で来月	宮崎日日新聞	p.26	2015年1月20日

### 3-5 取材(つづき)

氏名	題名	取材名	掲載頁	発行年月
	本県と川崎市 木造化検討委 認定企業が技術支援 市施設発注へ連携	宮崎日日新聞	p.1	2015年2月8日
	「豊富な県産材魅力」地元業者ら高い関心 川崎市・森林フォーラム	宮崎日日新聞	p.30	2015年2月8日
荒武 志朗	エコニコ宮崎 可能性を見いだし魅力を伝える研究者	宮崎日日新聞	p.14	2015年2月15日
	宮崎県と川崎市で協定締結 川崎で国産材利用のまちづくり ガイドラインづくり民間建築にも	日刊木材新聞	p.2	2015年2月18日
飯村 豊	弱みを強みにかえる -木製ガードレールで林業を再生-	夢の扉+ NTT出版	p.46-53	2015年3月2日
	九州産材 販路拡大へ 鉄筋埋め込み強度アップ 活用法都市部にアピール	読売新聞	p.35	2015年3月4日
小田 久人	スギ大径材用の課題と新たな技術開発 全国林業改良普及協会	日刊木材新聞	p.5	2015年3月13日

### 3-6 研 修 生

研修内容	期 日	人数	研修者所属	担当部
「木材の主成分の分析」など	7/22～8/4	1	都城工業高等専門学校 物質工学専攻第1学年	材料開発部
「木材の熱量の測定」など	8/18～8/29	1	都城工業高等専門学校 物質工学専攻第1学年	材料開発部
「木材の熱量の測定」など	8/25～8/29	1	都城工業高等専門学校 物質工学科4年	材料開発部
「木材の熱量の測定」など	12/1～1/30の 間の5日間	1	都城工業高等専門学校 機械工学科5年	材料開発部
都城西高等学校フロンティア科 校外探求講座（木材の特性ほか） 木材の性質と木構造の基本	10/14,10/21, 11/4,11/11	6 (教員1名を 含む)	宮崎県立都城西高等学校 フロンティア科2年 生	材料開発部 木材加工部 構法開発部